

はじめに

私たちのまち井原市は、温和な気候に恵まれ、小田川の清流と里山や田園の風景に囲まれた豊かな自然環境の中で発展してきました。こうした恵まれた自然環境を守り、さらに良いものとして将来の世代に引き継いでいくために、平成17（2005）年3月に「井原市環境基本条例」を制定するとともに、平成18（2006）年3月に「井原市環境基本計画」を策定し、環境施策に取り組んできたところです。その取り組みが評価された一つとして、令和3（2021）年11月に本市美星町は、星空版の世界遺産とも言われる国際ダークスカイ協会（現：ダークスカイ・インターナショナル）の「星空保護区・コミュニティ部門」でアジア初の認定を受けました。



一方、世界に目を向けますと地球温暖化が原因と考えられる異常気象の多発、生物多様性の損失、さらにはプラスチックごみによる海洋汚染問題など新たな課題が生じています。こうした環境を取り巻く様々な事象の変化に的確に対応していく必要性から、このたび「第3次井原市環境基本計画」を策定しました。

本計画の目指す環境像である、「豊かな自然と歴史・文化が調和した 持続可能なまち いばら ～みんながつなぐ 星がきらめく 明るい未来～」の実現に向け、「脱炭素」、「資源循環」、「安全・安心」、「自然共生」、「環境学習・環境保全活動」の5つを基本目標の柱とし、環境問題の解決に向けた総合的かつ包括的な施策を盛り込んでいます。

「脱炭素」の分野については、「井原市地球温暖化対策推進実行計画（区域施策編）」を本計画に包含しています。国の目標に準じて平成25（2013）年度を基準として温室効果ガスの排出量を令和12（2030）年度までに46.5%削減、令和32（2050）年度にはカーボンニュートラルの達成を目指すこととしており、「ゼロカーボンシティの実現」に向けて、市民・事業者・行政等が一体となって取り組んでまいります。

最後に、本計画の策定にあたり、多大なご尽力や貴重なご意見を賜りました井原市環境審議会委員の皆様をはじめ、アンケート調査にご協力をいただきました市民・事業者の皆様にご心よりお礼を申し上げます。

令和8（2026）年3月

井原市長

大古 勲